

連想式漢字記憶術

の場合は、言うまでもなく、漢字力の強い子にすることが先決問題です。今の小、中学生は勿論、高校生、大学生でも、漢字力が弱いため、読書が苦痛で、読書を楽しむ者が大変少ないようです。

前にも述べましたが、東大新聞で、「東大生に最も多く読まれている雑誌は、少年マガジンと少年サンデーである」と発表されていたのを見て、私は驚きました。結局、今の大学生は、漢字に弱く、そのため活字を読むのが苦痛で、読書の楽しみを味わうことが出来ないでいるのだ、とかわいそうに思いました。

漢字力を養うのは、幼児期が最適ですが、その時期を過ぎてしまった者はどうしたらよいか。それは、今までのような“機械的記憶”いわゆる丸暗記に頼っていたのはいけません。

漢字は、極めて立派な体系を備えた文字ですから、科学的に論理的に学習しなければ、記憶するのに骨が折れ、しかも記憶が浅くて忘れやすいのです。

自画自讃になりますが、“石井方式・漢字の覚え方”(学燈社)は、高

校生や大学生のために、“連想式漢字記憶術”(朝日ソノラマ社)は、一般向けに、漢字を楽しく、効率良く学習するために刊行したものです。これを熟読して下されば、きっと飛躍的に漢字力が向上すると思います。

なお、小学生のためには“漢字学習図解辞典”(三省堂)をお奨めします。従来の辞典のイメージを完全に破って、どこを開いても思わず読んで見たくなるような辞典です。しかも、その成り立ちが、子供にもなるほどと解るように一字一字についてすべて解説してあります。中学生でも、漢字力の弱い生徒諸君には、漫画の代わりに、この辞典を読むことをお奨めします。楽しんで読めて、漢字力が自然とつくことを請け合います。